

## 2022年度 杏林製薬医学教育プロジェクト助成報告書

### 1. 行った教育事業

名称：耳鼻咽喉科・頭頸部外科手術手技教育プログラム

担当者：一般社団法人 日本耳鼻咽喉科頭頸部外科学会

藤枝 重治（福井大学医学部長、耳鼻咽喉科・頭頸部外科学教授）

本プログラムは、臨床研修医、専攻医を対象に耳鼻咽喉科・頭頸部外科手術手技の向上を目指し、耳科・鼻科・頸部・喉頭気管の4つの領域で、下記のとおり開催した。

- 1) 第123回日本耳鼻咽喉科学会総会・学術講演会（2022年5月27日）にて、耳科・鼻科・頸部・喉頭気管の4つの領域で、それぞれ側頭骨・鼻副鼻腔・頸部・喉頭気管のモデル等を実際に使用し、耳鼻咽喉科に興味のある臨床研修医と医学生のレベルに合わせた丁寧なレクチャーを実施した。
- 2) 各コース1時間で午前1コマ、午後2コマとし、耳科コース15名、鼻科コース15名、頸部15名、喉頭気管15名の計60名の募集を行い、実施した。
- 3) 参加者は男性25名、女性34名の計59名で、医学生（全て6年生）は18名、臨床研修医は41名であった。

### 2. 成果（教育効果の測定結果を含む）

ハンズオンレクチャーの前後に受講者に5項目のアンケート調査を行った。

各項目、0点：全くできない（思わない）から、10点：十分できる（とてもよくできる）の11段階とし、受講生に選択してもらった。各項目の平均点を示す。

	講習前	講習後
1) 手術に自信があるか	2.2	4.2
2) 解剖を理解しているか	2.7	4.9
3) 手術手技は習得できているか	1.7	4.7
4) 内視鏡・顕微鏡の使用はマスターしているか	1.4	3.8
5) 手術器具の使い方はマスターしているか	1.7	4.3

以上のように、受講者自身、まだ耳鼻咽喉科手術の経験が十分でないため、受講前の点数は低いですが、ハンズオンセミナー後は、各項目で有意に自分に対する評価が上昇し、教育の効果が得られた。

参加者のセミナー終了後の感想は、下記のとおり、全てポジティブな意見であった。講師の丁寧なレクチャーが、高評価を得られた原因であると考えている。

- ・指導していただいた先生のお陰で解剖の理解と手術手技の基本を学びました。貴重な機会をありがとうございました。
- ・丁寧に教えていただき楽しかったです。ありがとうございました。
- ・初めての手技を多く経験でき、とても楽しかったです。6月からの耳鼻咽喉科での研修が益々楽しみになりました。ありがとうございました。
- ・実際にメスや電気メスを使ったことがなかったので良い経験になりました。
- ・非常に楽しかったです。とても良い経験をありがとうございました。
- ・見学ではわからない苦勞を感じる事ができたような気がします。
- ・解剖がなかなかイメージつかずに難しく感じていたので、今回実技と一緒に解剖を教えていただいて頭に入ってきやすくてよかったです。貴重な体験をさせていただきました、ありがとうございました。
- ・今後の手術に是非役立てたいと思います。
- ・とっても優しく丁寧に教えて頂き、ありがとうございました。とっても楽しく、また誉めて頂いたことで自信がつけました。
- ・楽しいセミナーをありがとうございました。(多数)

ハンズオンセミナーの講師に関するアンケートでは、ハンズオンの重要性を再認識するとともに、指導する楽しみが多く述べられ、継続性を要望していた。機器と人材を提供した機器メーカーの参加者も同じようにハンズオンの熱気に興奮し、非常に楽しく、教育への貢献をした充実感を述べていた。

以上から本医学教育プロジェクトは、受講者、指導者、サポート側、三位一体の充実感が得られ、非常に有意義な教育事業であった。

2022 年会計報告書 書式

(1) 収入

項目	金額
自己資金	2,500,000 円
杏林製薬医学教育プロジェクト助成	5,000,000 円
合計	7,500,000 円

(2) 支出

項目	金額
運営費用（例：会議費、運営・管理費等）	3,876,872 円
医学教育プログラムの案内に関する費用 （例：案内状、招待状、受講申請書等の作成費等）	87,242 円
教育資材等作成費等	1,865,927 円
設備備品	395,395 円
講師費用（例：謝礼、交通費、宿泊費等）	1,728,264 円
認定費（医学教育プログラム受講完了に関する認定費）	14,320 円
その他費用	8,514 円
合計	7,976,534 円